

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：小規模多機能型居宅介護事業所ほほえみ

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護 （該当に）

日時：令和7年4月24日 10時00分～11時00分

場所：小規模多機能型居宅介護事業所ほほえみ

委員：6人

利用者代表	0人	知見を有する者	2人
利用者家族	1人	大田市職員	2人
地域住民の代表	0人		
事業所職員 (職名：しおさい施設長・管理者 リーダー)			3人

1. 報告事項：

(1) 利用者の状況

①入所者、登録者、利用者の人数

(小規模多機能居宅介護は、通い・訪問・泊りの利用者状況を加える)

a) 登録者数及び男女比

	2月	3月
登録数(月末時点)	26名	26名
男性：女性	9:17	9:17

b) 地域

	2月	3月
仁摩町	16名	15名
温泉津	7名	7名
大森町	1名	1名
五十猛町	1名	1名
水上町	0名	1名
大田町	1名	1名

c) 要介護度

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	変更申請
2 月	0	2	11	7	4	1	1	0
3 月	0	2	10	8	3	2	1	0

d) 年齢構成

	65 歳未満	65 歳以上	75 歳以上	85 歳以上	95 歳以上	平均年齢
		75 歳未満	85 歳未満	95 歳未満		
2 月	0	0	6	15	5	89.22 歳
3 月	0	0	7	14	5	88.93 歳

(2) サービスの提供状況

① サービスの提供回数

a) 週当たりの平均サービス提供回数

	2 月	3 月
通いのべ人数/月 (平均)	346 人 (12.4 人/日)	322 人 (10.4 人/日)
宿泊のべ人数/月 (平均)	163 人 (5.8 人/日)	167 人 (5.4 人/日)
訪問のべ回数/月 (平均)	365 回 (13 人/日)	376 回 (12.1 人/回)
のべサービス 提供回数/月	874 回	865 回
のべ利用日数/月	703 日	700 日
登録者一人当たり の平均利用回数	一人当たり 5.99 回/週	一人当たり 6.68 回/週

b) 長期宿泊および過少サービスの状況

長期宿泊の方 3 名。週平均 4 回以下の過少サービス状態の方が 2 月 5 名・

3月3名おられました。長期宿泊、過少サービス状態の方については各利用者の心身状況・生活状況、本人・家族の希望を報告し、委員より不適切指摘はありませんでした。

c) 新型コロナウイルス感染症対策

項目	内容
通い	○ 通常対応中 検温、風邪症状の有無などの健康チェックは引き続き行っている。 ホールテーブルにアクリルパネル設置。 県外行き来されるご家族には自己チェックお願いしている。
泊り	○ 通常対応中
訪問	○ 通常対応中
面会制限	○ 体調確認して頂き、面会室を利用している
人員体制	○ 現在職員 16 名。欠員なし
職員の対応	○ 2月末に1名新型コロナウイルス感染。 ○ 自宅での検温・マスク着用・行動記録表作成 ○ 事務所・休憩室にはアクリルパネル設置
業者の入館	○ 玄関対応可能な業者は玄関対応 その他業者は玄関で体温測定後に消毒、マスク着用してもらい入館
備品の状況	○ マスク・消毒液・プラスチック手袋 → 備蓄あり ○ 予防衣・フェイスシールド → 備蓄あり

(3) しつらえ・環境作り

①室温・換気・湿度

換気以外の寒さの訴えなし。常時窓を開放し、外気温に合わせて開放量調整

②感染症予防のための取組み（新型コロナウイルス感染症対策を含む）

○2月末にご利用者1名新型コロナウイルス感染。

その後、職員1名、ご利用者5名感染する。通所サービスは縮小し、訪問サービスに切り替えて対応する。3月中旬に終息した。

毎日の管理 : 換気・手すり等消毒 (2回)

空間洗浄機 (次亜塩素酸水) の終日稼働

週2回の管理 : 次亜塩素酸ナトリウムを使用した床拭き

③設備・機器の整備

3月中旬、洗濯機が故障し、新たに購入した。

④過ごしやすい空間作りの取組

2月20日	福祉展用作品作り
2月21日	塗り絵、飾り付け壁飾り
3月3日	春の壁飾り
3月5日	編み物
3月26日	書道教室
3月27日	生け花

(4) 地域と職員のかかわり

①参加行事

- ・陶器展示鑑賞 利用者5名
- ・2月、3月・・・地域食堂「まんまんちゃん参加」 利用者各1名

②実習受入れ

なし

③民生委員・関係機関等との連携

(5) 利用者の生活に地域とのつながりをもつ取組

①利用者個別の地域行事参加支援

- ・桜花見 通所サービス利用者

②利用者全体の外出支援・地域行事参加支援

大田市福祉展への作品出品

大田市福祉展鑑賞 利用者 1 名

③通院支援

定期受診日の予約票保管、受診促し	7 名
処方薬の受領、支払い代行	4 名
体調不良時の主治医への状態報告、受診手配	21 回

④町内買い物代行

5 名を継続支援中です。

⑤町内支払い代行

法人預り金管理規程に準じて 6 名からお預りし、支払いを代行しました。
購入支援の主な内容は、受診代、薬代、紙おむつ代、食材購入代でした。

(6) 防災・災害対策

3 月 21 日に西部消防署の方に参加して頂き実施。

(7) 質を向上するための取組

①研修（職場内外）の実施・参加

2 月 13 日	事業所ミーティング	利用者に関する情報伝達・小規模計画評価
3 月 21 日	事業所ミーティング	利用者に関する情報伝達・小規模計画評価

会議にて各利用者の支援見直しを行っていました。

介護事故の発生状況

① 2/20 食事代替え品提供の利用者に誤って通常の食事を提供した。

その後異常なし。

② 3/13 朝の内服の 2 重服薬

主治医連絡、その後異常なし。

(8) 人権・プライバシーの保護

①身体拘束の有無

実施の必要性なし。

③ 虐待防止活動

なし

④ 苦情相談

苦情相談なし

3. サービス評価・令和7年度事業計画について

サービス評価総括表の説明を行う。

令和7年度事業計画の説明を行う。

→Aisleep についての紹介を行った。便利な機械があるものですね、と参加者驚いておられた。

2. 意見・アドバイス

○施設長

・大田市職員へ他施設の面会制限について質問

→概ね緩和傾向と聞いている。面会 15 分程度可能。

○委員

・ほほえみでも独居の利用者が増えているが、大田市独居の高齢者の数はどのくらいだろうか。

→大田市職員 令和2年度で2307世帯いる。古い数値なので、次回資料作成が間に合えば持参する。

○大田市職員

・内服の重複事故が起こっているが、ほほえみで服用してもらうようにすればどうだろうか。

→朝の薬はほほえみで内服してもらうことになっていたが、その日はたまたま家で服用することができていた。家族との情報共有不足だった。

○事業計画の目標数値は現実に即しているのか

→あくまで目標だが、2. 3月はコロナウィルス感染症で通所回数が減り、訪問回数が増加している。目標達成できるように努力していく。

○感染症の状況について

→呼吸器感染症（風邪）が4/7-4/13 40件発症されている。新型コロナウイルス感染症は減少傾向と聞いている。換気など標準的な感染対策を継続してほしい。